昭和30年12月5日 第3種郵便物認可（日曜・祝日の翌日休刊） 社団法人日本地方新聞協会加盟 （日刊）
第17837号

岳陽新聞

1月15日 金曜日
2016年（平成28年）
発行所 岳陽新聞社
〒418-0002 富士宮市中原町7番地
☎（0544）24-9050 FAX（0544）24-9007
購読料1か月630円 1部売り 50円

誠意と高い技術力
土木、建築、舗装、各戸上下水道工事 設計施工
株式会社 三与（みつよ）建設
本社 富士宮市田中町1150
電話 27-0770（代表）

予算編成は市長らの二役査定に
過去最大規模の20億円となる見込み

富士宮市

編成作業は大詰め

平成28年度当初予算の編成を行っている富士宮市は、須藤市長と渡邊恭一・芦澤英治副市長ら二役による査定を12日から始め、きょう15日までの予定で査定を進めている。

同市では平成28年度が第5次総合計画の初年度に当たることから、将来都市像に掲げた「富士山の恵みを活かした元気に輝く国際文化都市」の実現を目指す第一歩と位置付けて事業実施を図ることを示し、編成作業を行なってきた。一般会計当初予算総額は本年度当初予算額14億6千万円を上回る20億円台で過去最大規模となる見込みで、来月初めの公表に向けて査定を進めている。

市長・副市長らの二役査定では、総務部長・企画部長らが同席して、財務部長から予算編成状況の説明に続いて財務課からの各事業予算の説明を受けて、査定は進められている、という。国の税収増大見込みもある中で予算規模は国・自治体共に拡大基調にあるが、人口減少社会・格差拡大など不安要因もあり、事業継続の効果・支援の必要性など補助金はじめ『費用対効果』の検証が求められる事業も少なくないことから、過去最大規模と拡大する予算に、より精査が求められる編成作業ともなっている。

富士宮経済NEWS

「富士宮高校会議所」準備順調
市長訪問と第3回準備委員会開催
青春、世界に誇る地域づくりに向け全力投球

準備委員会の様子

市長への初トップ営業

昨年富士宮市内の5高校生徒が企画した「富士宮高校会議所」の飯島大会頭が13日、須藤秀忠市長を訪問後、メンバーたちと「第3回富士宮高校会議所設立準備委員会」を開催した。

昨年企画が進められたこの取り組みは飯島大会頭（富岳館3年）を中心に、市内5高校（富岳館・富士宮北・富士宮西・富士宮東・星陵）の有志1、2年生らが集まり、市や企業、団体等と協力連携しながら、実際に地域振興活動を展開、市や商店街を盛り上げようというもの。

市や富士宮信用金庫、同商工会議所、富士宮やきそば学会、企業団体等が活動支援や資金協力し、実際に商工会議所を模した役割分担で組織づくりを行いながら、高校生の新しい視点や発想を活かした事業に取り組むとしている。

同日、須藤秀忠市長を表敬訪問した飯島大初代会頭、時田定則富岳館高校副校長、渡辺英彦富士宮焼きそば学会会長、渡辺孝秀NPO法人まちづくりトップランナーふじのみや本舗代代表理事は今後の取り組みや意気込みを須藤市長に語った。

飯島会頭は「西町に高校生を誘導して人の流れを作り、商品開発などの活動もやってみたい」と抱負を語り、須藤市長は「高校生らしい感覚でのひらめきで、ぜひ頑張ってほしい」と笑顔で全面協力の構えをみせた。

強力な大先輩助っ人が応援

渡辺会長は「行政と高校生の接点ができることが画期的、全国初の試みなので活動が広がれば」と、期待を込めて語っていた。飯島会頭は現在卒業を控える3年生だが、今後1年間程度、同事業に携わる予定としている。

訪問後の準備委員会には各校から増え続けているメンバーが集まり、新メンバー紹介や前回宿題となっていたロゴやスローガン、名刺、看板、のぼり、イメージキャラクターに関する案を発表するなど、意見交換が行われた。

同会議所は、2月8日に設立総会を開催する予定で、多くの関心と期待を集めながら、正式に設立すると同時に事業活動のスタートを切る。

お誕生おめでとう

なくなった方

佐野宏（81）小泉59番地の1
村野絹子（85）羽鮒10
若林優希（愛）淀平町35番地
木川しず（100）万野原新田4108番地の9
井出つる子（91）狩宿296番地
近藤嶋子（92）内房39
30番地の3

ふじおろし

『創業者の哲学』

◆商家ではかつて「鏡開き」と同じ日に蔵を開き、仕事始めとして祝う「蔵開き」が行われてもいました。今では蔵開きを行う商家が少なくなるなか、富士宮市宮町の文具の蔵・Rihei では11日に伝統の「蔵開き」神事が催されました（4面『新春点描』に記事）。歴史を刻む商家には伝統と共に創業者の精神が刻まれているものです。

◆一流企業の創業者の言葉は、企業理念を示す精神哲学として伝えられてもいます。

パナソニック（旧松下電器産業）を一代で築き上げた松下幸之助は多くの言葉を残していますが、実業界や政界に有用な人材を数多く輩出した「松下政経塾」の塾生に松下幸之助の発した言葉のランキング（松下政経研究所調べ）の1位は「素直」、2位は「国家百年の計」で「秀吉」「武蔵」「自修自得」「松陰」「釈迦」と続いています。1位の「素直」は、与えられた条件や環境をすべて受け入れるという意味でそのたとえで「秀吉」を挙げたようです。

多額の借金を抱え経営危機に陥るなど多くの困難を乗り切った経験から社員には「窮するあまり、物に心奪われてはならない。常に至誠に立ち、物にとらわれない精神をもって押し進むべきである」と励ましの言葉を語って、ことあるごとに『難局は発展の好機』とも語っています。他にも「何年かかろうが、成功するまでやめない」、「百年やっても成功しない、千年やってもダメだと言うものもある。成功の秘訣は成功するまでやめないことだと聞いて、そのとおりやっていたら、いわゆるバカ正直になってしまう」、「一生懸命もいいが、見極めも肝心。いくらやってもダメなものはある。それを見極めるためには英知を働かせることが大切で、結局のところ。志、情熱をもって取り組むことだ」とも語っています。

日本初の銀行や東京商法会議所を設立、日本郵船・東京瓦斯・帝国ホテルなど多くの企業を創業して「日本の資本主義の父」とも言われる渋沢栄一は、いくつになっても学ぶ姿勢を大切にし誰とでも時間の許す限り会って人との出会いと縁を大切にし、多くの人を惹きつける魅力を備えた「人たらし」の経営者だったとも言われます。

その渋沢栄一は『礼儀ほど美しいものはない』と意見が対立する相手でも尊重することの大切さを説きました。その遺訓集には「およそ目的には、理想が伴わねばならない。その理想を実現するのが人の務めである」、「一人の楽しみは決してその人の限りに止まらず、必ず広く他に及ぶ」、「他人を押し倒してひとり利益を獲得するのと、他人をも利して、ともにその利益を獲得するのといずれを優れりとするや」「老年となく青年となく、勉強の心を失ってしまえば、その人は到底進歩するものではない。いかに多数でも時間の許す限り、たいていは面会することにしている」などの言葉があります。

◆小さな町工場から一代で「世界のホンダ」を築いた本田宗一郎は社内ではカミナリ親父とも言われました。小学校しか出ていなかった宗一郎に新人の時から薫陶を受けたと言う元常務の岩倉信弥氏は叱り続けられた思い出を「大学を出ている君が中学も出ていない私にこんなことを言われて、おかしいと思わんのか」と一喝されたこともあった、と「私のような大学などで知識を身に付けた社員は既成概念で物事を見てしまう、本田さんは『頭でっかちにならず、まずはやってみろ。勉強してきたんだから、やればできるはずだ』と発破をかけてくれたんだと思う」と回顧している。

岩倉氏は常務就任時に「明るく、楽しく、前向きに」の標語を宗一郎の精神を伝える言葉として伝えています。宗一郎のモットーは「目標は高く、評価は厳しく」でした。ホンダの創造性を重んじる社風には宗一郎の「真似をするな」イズムが息づいているのです。

公益財団法人みやしん地域振興協力基金 主催 講演会
「誰もが幸せになれる町・邑南町へようこそ」
講師：島根県邑南町長 石橋良治 先生

平成28年2月10日(水) 午後3時00分～4時30分
クリスタルホール パテオン（富士宮市錦町）
入場料：無料
定　員：150名（定員になり次第締め切ります）
※申し込み締切日／1月22日
聴講ご希望の方は、お近くのみやしん本支店へご連絡下さるか、又は、下記財団事務局へお問い合わせください。なお、当日会場の駐車場に限りがありますので、お車乗り合わせのうえ、ご来場下さい。
●お問い合わせ先 Tel：0544-23-6464（財団事務局）

広告は岳陽新聞へ

深沢りゅうすけ 新春の集い「挑む！2016」
●時間 2016年1月16日(土)
13:30 開場 14:00 開会
●場所 パテオン
●会費 2,000円
あせらず！
あわてず！
あきらめず！

※若干のアルコールを提供しますので、飲酒されます方は、お車でのご来場はお控えください。
深沢りゅうすけ後援会
TEL（0544）22-2033
http://www.fukaryu.com